

信息技术用語⑩

“WIFI”

以前，我们曾给大家介绍过“无线网络”及“高速移动电话通信”的有关信息，您最近是否看到过在智能手机及平板机的广告上登有这样的字句：“WIFI 对应”、“3G 网对应”及“LTE 网对应”。此外，就连打印机广告都会有“WIFI 对应”的字样。那么，这一期我们就为您介绍一下何谓“WIFI”。

“WIFI”是“Wireless Fidelity”的缩写，指的是使用无线网来上网的方式。从广义上说，将 WIFI 视为无线网也无妨。

利用 WIFI 上网的话，除了需要有能够跟互联网连接的电路终端设备（光缆的话为 ONU，ADSL 电路的话则为 ADSL 调制解调器）之外，还需要有可以接收信号的共享器及可以发出信号的主机。

首先，很多共享器基本上都与主机为一体（标有“内藏无线网”字样）。而要是没有“内藏无线网”字样的话，就需要另外购买跟电脑连接的共享器（1000～10000 日元左右）。

其次，我们想给大家介绍一下何谓主机。由于构成有点儿复杂，所以我们采用下一页的图来一边看一边给大家讲解。如图上所示“有

あいていーようご

I T 用語⑩

わいふあい

「WIFI(ワイファイ)」

以前、本誌で「無線 LAN」と「高速モバイル通信」に関して紹介したことがあります。最近、スマートフォンやタブレット端末の販売広告をみると「WIFI対応」とか「3G対応」「LTE対応」と書いてあるのを見かけたことはありませんか？また、プリンタにも「WIFI対応」といった文字を見かけます。今回は、「WIFI」とは何かを説明しましょう。

「WIFI」とは Wireless Fidelity（ワイヤレス ファイデリティ）の略で、無線 LAN を使ってインターネットに接続する方式のことを言います。広義的に解釈すれば、無線 LAN と同じものと考えてさしつかえありません。

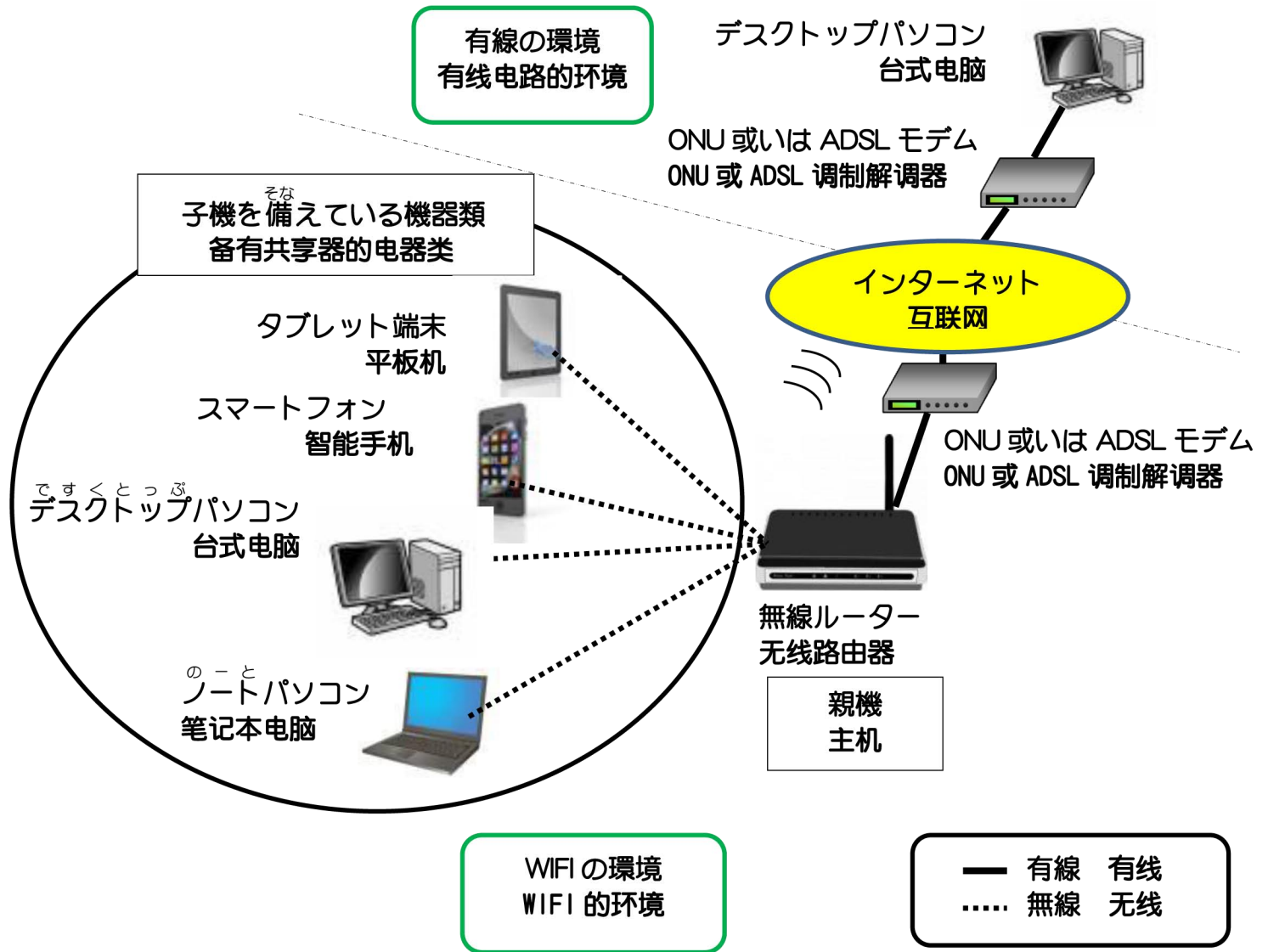
この「WIFI」を利用するには、インターネットに接続する際に必要なインターネット回線端末機器（光回線の場合は ONU、ADSL 回線の場合は ADSL モデム）の他に、電波を受信する子機と、電波を発信する親機が必要です。

まず、子機はパソコンなど機器本体についていることが多いです（無線 LAN 内蔵と表示されている）。「無線 LAN 内蔵」と表示のない場合は、別途パソコンに装着する子機（1000円～10000円前後）を購入する必要があります。

次に、親機がどのようなものかをお話しますが、少し複雑なので、次頁の図を見ながら読み進めてみてください。図上「有線の環境」のように有線の環境下でインタ

线网的环境”，在有线网的环境下上网的话，互联网连接的电路终端设备(ONU 或 ADSL 调制解调器)和电脑是通过电线来连接的。在这样的情况下，一台互联网连接的电路终端设备(ONU 或 ADSL 调制解调器)只能与一台电脑连接。但是，如果使用 WIFI 的话，如下图所示“WIFI 的环境”，只要将互联网电路终端(ONU 或 ADSL 调制解调器)与主机连接，那么，很多台电脑都可以同时上网。

ーネットに接続する際には、インターネット回線端末機器(ONU 或いは ADSL モデム)とパソコンをケーブルでつなぎます。この場合、1 台のインターネット回線端末機器(ONU 或いは ADSL モデム)に 1 台のパソコンしかつなげません。しかし、WIFI の環境下であれば、図下「WIFI の環境下」のようにインターネット回線端末機器(ONU 或いは ADSL モデム)に親機をつなぐことで、複数のパソコン等が同時にインターネットに接続できるようになります。



为了跟共享器进行区别,主机注册有一个名字 (SSID) 及密码,将这个密码设定在共享器上,就可以安全上网了。密码的作用就是防止有人从外部通过无线网非法进入他人电脑,这在防犯上是及其重要的。如若使用未注册密码的主机,那么,就有可能被第三者偷窥到通信内容,感染病毒,或是保存在电脑里的照片、视频遭改写。要买主机的人,请务必购买有注册密码的主机,因为其中也有没注册的,敬请留意。顺便说一下,主机一般被称为“无线路由器”或是“无线 LAN 路由器”。

下述环境能够上网:无线路由器四周数米到数十米以内的地方,还有被称为 HotSpot 及 FreeSpot 的免费公共无线 LAN 区域(请参照本刊第 56 期内容)及收费无线 LAN 区域(每月 300~500 日元左右)。若出门时想随时随地用“WIFI 对应”的电脑,那么也有一种办法是与手机通信公司签约,与便携式无线路由器(手机 WIFI 路由器)一道使用。当然,签约后需要支付相应的使用费。下一期我们在为大家介绍“3G”及“LTE”时,还将对此作详尽的讲解。

(M)

親機には、子機が識別できるように、名前 (SSID) と暗号キーが登録されています。この暗号キーを子機に設定することで、安全にインターネットに接続できるようになっています。暗号キーの役割は、無線を通して外部から不正にアクセスされるのを防ぐことです。これはセキュリティ対策として非常に重要です。暗号キーの登録がない親機を使用していると、場合によっては、通信内容を見られたり、ウイルスに侵入されたり、パソコンに保存してある写真や動画を書き換えられたりする危険があります。購入する必要があるなら、必ず暗号キーの登録があるものをご購入しましょう。中には登録のないものもありますので、注意してください。ちなみに、親機は一般的に「無線ルーター」とか「無線 LAN ルーター」と呼ばれています。

通信できる場所は、無線ルーターの周辺数メートルから数十メートルの他、無料の公衆無線 LAN エリア(本誌 56 号参照)の HotSpot や FreeSpot と呼ばれる所や、有料の無線 LAN エリア(月額 300~500 円前後)です。外出時に自由に「WIFI 対応」のパソコンを使用したい場合は、新たに携帯電話会社と契約し、携帯用の無線ルーター(モバイル WIFI ルーター)と合わせて使用するという方法があります。当然、その契約分費用も加算されます。次回「3G」や「LTE」といった言葉を紹介する際に詳細を説明しましょう。(M)